



衛生研究所のInstagram
フォローお願いします！

令和8年6月発行



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。

小児科・病原体定点医療機関における病原体サーベイランス検査結果（2025年）

▶ 当所では、感染症法に基づく感染症発生動向調査事業の一環として、病原体の検出を行っています。細菌担当では、市内5か所の小児科定点医療機関から送付された細菌検査検体について、主にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎および感染性胃腸炎に関する検査を実施しています。今回は、2025年1月から12月までの1年間に、小児科・病原体定点医療機関から受け入れた検体について、A群溶血性レンサ球菌および感染性胃腸炎の検査結果を報告します。

主な結果 ▶ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では、患者の咽頭ぬぐい液83検体からA群溶血性レンサ球菌61株が分離されました。市内では、**T4型が最も多く42株(68.9%)**、次いで**TB3264型が5株(8.2%)**分離されました。▶ 感染性胃腸炎の細菌検査は4検体に対して実施し、*Campylobacter jejuni* が1検体、*Campylobacter coli* が1検体、*Staphylococcus aureus*(エンテロトキシンA産生)が1検体から分離されました。

薬事検査結果（令和7年度）

▶ 健康被害の未然防止のため、いわゆる健康食品と称して販売されている製品(痩身または強壮効果を目的とする製品)の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)で規制される成分検査を行っています。

主な結果 ▶ 「強壮効果」を標ぼうするいわゆる健康食品15検体について、メチルテストステロン等8成分の検査を行いました。その結果、**いずれの成分も検出されませんでした**。
▶ 「ダイエット」、「痩身」等を標ぼうするいわゆる健康食品15検体について、センナ等8成分の検査を行いました。その結果、**1検体からセンナが検出されました**。

要注意健康食品シリーズ⑳ -健康茶から検出されセンナの遺伝子検査について-

▶ 当所では、毎年“いわゆる健康食品”の検査を実施しています。昨年度の検査では15検体中5検体から、下剤成分であるセンノシドAおよびセンノシドBが検出されました。これらの成分が検出された場合、それが「医薬品たるセンナ(センナの葉、葉軸)」に由来するか否かを確認する必要があります。

主な結果 ▶ 今回、センノシドAおよびセンノシドBが検出された5検体のうち、実体顕微鏡でセンナの葉や葉軸の有無の確認が可能であったのは3検体でした。このうち1検体はセンナの葉、残りの2検体はハネセンナ(学名カシヤ(センナ)・アラタ、通称キャンドルブッシュまたはゴールデンキャンドル)と確認できました。残る2検体(錠剤)は、センナであるかの判定はできませんでした。
▶ PCRを用いた遺伝子検査により、葉の確認ができた3検体については、形態観察と一致する結果が得られました。